

事業番号	06 05 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課		
		実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献						

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	長野県として守るべき動植物(長野県希少野生動植物保護条例の指定種)を80種指定し、そのうち15種(R3末)について保護活動の指標となる保護回復事業計画を策定した。 里山の荒廃、外来生物の拡大、温暖化などの影響により、希少種を始めとする長野県の豊かな生物多様性が脅かされている。
	【目指す姿】	「生物多様性ながの県戦略」の中期目標「人と自然が共生する信州」の実現 多様な主体との協働による保全活動や生物多様性を社会全体で守る取組を推進し、県民の生活基盤である自然環境が保全されている。
	【実施内容】	保全活動支援者の掘り起し、ライチョウなどの保護対策、外来生物対策方針の検討など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	保護回復事業計画の策定及び評価検証数	件	24	24	→	26	↑	26	達成
2									
3									
4									
5									

事業コスト	区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
	予算額	前年度繰越額	0	0	0
		当初予算額	14,872	22,509	20,354
		補正予算額	0	-2,506	-600
		合計(A)	14,872	20,003	19,754
		うち一般財源	7,258	10,855	8,140
	決算額(B)	13,997	14,120	15,660	
職員数(人)	7.3	7.3	7.3		

成果指標及び目標値の設定理由	1.希少野生動植物保護条例に基づく保護対策の実施状況を示す指標として、保護回復事業計画の策定及び評価検証数を成果指標に設定(目標値:第四次長野県環境基本計画による)
達成状況の分析	1.保護回復事業計画に基づく評価検証(鳥:ブッポウソウ、植物:アツモリソウ)をR3に2種実施し、当初予定の目標値を達成した。

主な取組	○希少種戦略(ライチョウ保護)	登山者がスマホで目撃情報を投稿できるアプリ「ライポス」の開発・運用 →広く生息状況を把握し、研究データを蓄積	ライポス 	ライチョウ学習動画 	ライチョウ保護のOJT研修 
	ライチョウ学習動画の制作(8本) →県民等がライチョウの生態等について学び、保護への理解を深めるための学習動画を制作				
	高度技術者の養成(4名) →環境省のライチョウ復活事業と連携し、中央アルプスでOJT研修				
	○外来生物対策の普及	地域の駆除活動を主導的な立場で進める市町村担当者や地域リーダーに向けた普及 →本県で特に注意が必要な外来種の対策方針、生態や防除方法をとりまとめた「長野県版 外来種対策ハンドブック」を活用併せて、講習等で活用する解説動画を制作			

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	支援の可能性のある企業の掘り起こしや、より多くの企業の参画を促すためには、取組のメリット等をより具体的かつ効果的にPRすることが必要。 生物多様性を保全する取組を進めるためには、生物多様性に関する県民の理解が必要。	引き続き、企業や学校、団体等の多様な主体との協働による生物多様性保全の取組を推進する。 生物多様性に関する情報発信を行うとともに、関係機関と連携して環境教育・普及啓発に取り組む。

事業番号	06 05 01	細事業一覧 (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課
細事業No.	細事業名	R1年度決算	R2年度決算	R3年度決算		
1	生物多様性保全事業	13,997 千円	14,120 千円	15,660 千円		
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)			
1	生物多様性保全体制構築事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接	企業など様々な主体を生物多様性保全活動の支援者として呼び込むための活動 ①支援企業の掘り起こし ②説明会の開催 ③協定締結 【新規協定:1件 累計協定数:17件】			
2	ホットスポット保全対策事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接	希少種やホットスポットの緊急保全対策を県が実施 ①保護を啓発する看板等整備や緊急的な保護対策 ②シカ柵によらない草原環境保全の推進			
		補助金	寄付金をもとに市民団体等が実施する生物多様性の保全活動に対して補助金を交付 【補助金交付対象:6事業主体】			
3	ライチョウ緊急保全対策事業 【希少種戦略構築事業】	委託	・ライチョウ生息環境等の基礎調査 中央アルプスと比較するため、乗鞍岳での捕食者の生息密度などを調査			
		直接	・ライチョウサポーターズスキルアップ事業 登録済みのサポーターズのレベルアップのため、最新のライチョウの動向を学ぶ座学講習会を開催 【講習会:1回】			
4	ライチョウ保護スクラムプロジェクト 【希少種戦略構築事業】	委託	ライチョウの保護増殖体制を強化するため、高度技術者を育成。また、目撃情報を集めるアプリの広報を行うとともに、ライチョウについて学べる動画コンテンツを制作【高度技術者養成:4名、ライチョウ学習動画:8本】			
5	希少野生動植物保護対策事業 【希少種戦略構築事業】	直接	・県民等の保護活動の指標となる保護計画の評価検証 ・希少種のパトロール活動を行う監視員の委嘱 【評価検証:希少種2種(鳥:ブッポウソウ、植物:アツモリソウ)】			
6	外来生物対策普及事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	「長野県版外来種対策ハンドブック」を普及し広域的な駆除活動を促進するため、駆除活動を主導的な立場で対策を進める担当者、指導者、地域リーダー向けの解説動画を制作【(アライグマ)(身近にみられる外来植物)(水辺に棲む外来種)】			
7	外来生物防除対策事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	収集されるアライグマ等の目撃・捕獲情報、痕跡やセンサーカメラを用いた野外調査結果、さらに捕獲個体の解剖分析による情報を統合し、各地域における定着段階の変化を把握			
8	自然環境保全地域等標識板設置事業	直接	老朽化して板面が判読しにくい案内標識板等を改修し、自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介した。 【南木曾町1か所】			
9	自然探勝会	委託	障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 【開催場所:県内4か所程度】 → 新型コロナウイルス感染症拡大により事業の実施を見合わせ			